

## 谷津田保全活動への抱負

新年あけましておめでとうございます。今年も下大和田や小山の谷津田で活動を続けていく皆さんに、2011年の抱負を語っていただきました。

### ★下大和田

- ・下大和田から元気を貰って一年を健康に過ごす。(網代春男)
- ・昨年の反省から、ただ一言：今年は少しゆとりのある活動をしたいと思います。(石橋絃吉)
- ・毎年少しずつ違う田んぼを今年も満喫したいです。(大谷祥)
- ・今年は森の手入れもしたい。それから谷津田を守ってきた林のおじいちゃん、おばあちゃんからゆっくり話が聞きたいな。(小西由希子)
- ・① 2011年より多く田んぼの活動に参加すること。
- ・② こどもたちと一緒にネイチャークラフトを楽しむこと。

(渋谷雄二)

- ・鳥になって空から谷津を眺めてみたいといつかねてからの夢から、ラジコンを使った空中撮影に挑戦したいと思います。(高山邦明)
- ・「今年はいいい年だったね」と、振り返ることができるような1年でありますように。(田中正彦)

・生き物たちとの出会いを大切にしたい。そのためにももっと多くの名前を覚え、生態を調べたい。谷津田に来る人たちのそれぞれの目的(田んぼ・生き物)にあわせて楽しんでもらえるようにお手伝いがしたい。

(平沼勝男)

・下大和田に通った年月を振り返ってみるといろいろな思い出がよみがえります。「私が谷津田を選んだのではなく、谷津田を選んでいただいたのだ。」……パクリかな？このような気持ちで、今年も心新たにYPP活動を楽しみたいと思っています。(福満美代子)

・谷津田に、子どもたちや家族の声がさらに響くようになりますように。また鳥のさえずりや装い、習性などを学び、少しでも多くの鳥と親しくなりたいと思います。(古川美之)

- ・① 暑い時でも 田の草を取る手伝いをする。
- ・② 下大和田参加者に、谷津田で楽しい時間をすごしてもらえよう谷津田運動会を工夫する。
- ・③ 4年目に入る谷津田大福帳を継続する。(南川忠男)
- ・① 谷津田を通して人と人のふれあいを大事にしていきたいです。(山口 靖・理恵：父母)
- ・② 今年も米作りをがんばる。(山口真人：小学生)

### ★小山

- ・① 風柳田んぼの全面開墾に没頭し、無我の境地を悟ること！  
おたまのしっぽ田んぼから、玄米収穫10kg！

(稲富直彦：父)

- ② 田んぼに、きらきら輝く子ども達の笑顔に、たくさんたくさん、出会うこと。(稲富理枝：母)
- ③ ヒルを捕まえて、育てる。(稲富晴彦：小学生)
- ④ たくさんお花摘みをする。(稲富真理：幼稚園児)

・学校田んぼのお手伝いをするようになって、お母さんのお知り合いが増えました。今年も、たくさん子どもたち、お母さん方と楽しく作業したいと思います。それから、脱穀を終えた後のわらを使って、わら細工の作品をひとつ作れるようにしたいと思っています。(江澤芳恵)



自然物を使った龍のクラフト(渋谷雄二さんの作品)



休耕田の開墾風景(稲富直彦さんのイラスト)

- ・四月からは巳年さんの多い五年生のみなさんとの田作りを楽しみにしています。（大谷祥）
- ・もっと地元の方々とお話する機会を増やして、稲作を楽しみたいと思います。（齊藤 薫）
- ・学校田んぼの活動にできるだけ参加して、子どもたちに田んぼの魅力を伝えたいと思います。（高山邦明）
- ・小山町での学校田んぼの田づくりも、昨年で大椎小が5年目、あすみ小が2年目。ケガなく無事に収穫まで終わりました。昨年もたくさんのボランティアのご父兄の方々が作業を手伝って下さいました。ありがとうございました。その中のK君の1年生になる弟君、お母さんと田んぼに来るなり、「生き物がたくさんいて、すご～い！ぼくが5年生になるまで、田んぼやってね！」なんてうれしいこと言ってくれました。あと、4年、5年と続けられるかしら・・・地元の方々のご理解とボランティアのみなさんのお力があっての活動だと思っています。まずは今年も1年、子どもたちと無事に楽しく収穫できますように。よろしく願いいたします。（松下恵美子）

- ・① 新品種（大きなお米）のお米作りを成功させること
- ② 開墾田の面積を昨年の2倍にすること （柳町健治）

## 2011年の米づくり報告

下大和田と小山の昨年、2011年のYPPの米づくりについて報告します。

米づくりの作業日程と収穫量は下記の表のとおりでした。

昨年は7月上旬に梅雨が明けて早い夏の訪れになるかなと思ったら、その後は例年よりも気温が低めの日が続き、コシヒカリの穂が出るのが遅れました。出穂はだらだらと8月下旬まで続くような状況でしたが、稲穂に付いたモミの数は例年よりもとても多く（谷津田だより 2011年9月号に報告）、結果として、平年並みに近い収量になりました。ただ、古代米も含めて、ここ何年かは豊作だったと思うことがなく、実際に稲刈りをしていて稲束のズシリとした重みを感じることがないのがちょっと残念です。

下大和田では今年度、「谷津田米作り講座2011」を開催しています。昨年4月9日のオリエンテーションからはじまって、YPP田んぼの一連の米づくりや田んぼに関係したイベントに合わせて、3月の修了式まで全15回の講座に7家族24名が参加しています。その中の4家族の皆さんが、田んぼを借りて自分たちだけで米づくりをしてみたいと希望し、“マイ田んぼ”に挑戦しました。使った田んぼは、YPP田んぼの近くにある、有志の方が地元の方の田んぼをお借りしてこれまで米づくりを行ってきた田んぼの一部です。はじめての田んぼの作業に戸惑うことも多かったようですが、田植えから稲刈り、脱穀まで無事終了し、自分の手で収穫したコシヒカリをおいしく召し上がったそうです。

小山では今年も地元の大椎小学校、あすみが丘小学校の5年生が米づくりをしました。大椎小学校は2007年からはじめて今回で5年目、あすみが丘小学校はこれが2年目になります。初年度のあすみが丘小学校は地元の方の田んぼをお借りして行ったのですが、大椎小学校のように休耕田を開墾して学校田んぼを作りたいという希望があり、先生方や親御さん、ボランティアの皆さんが参加して春先に田んぼを復活させました。原発事故による放射能汚染への懸念から田植えはボランティアの方が子どもたちに代わって行いましたが、その後、放射線量測定によって田んぼの安全性が確認されたことから、草取りから稲刈り、脱穀は子どもたちが行い、最後に自分たちで育てたお米を試食することができました。

2011年の米づくりも参加して下さったたくさんの方々の方に支えられて無事、終了することができました。私たちが米づくりを行っている田んぼは私たちがお米を作らなければ、休耕田となってアシなどの雑草が生い茂り、メダカやニホンアカガエルなど生きものが暮らすことができない環境になってしまう場所です。収穫は決して多くはなかったのですが、米づくりを続けることによって実にたくさん生きものの命を育てることができました。また、米づくりに参加された方にとっては米づくりの楽しさや大変さを感じ、また、田んぼの自然に直接触れる良い経験になったことと思います。

米づくりに参加された皆さん、本当にありがとうございました。これからも米づくりを続けていきたいと思っておりますので、今後の米づくりに多く皆さんの参加、お力添えをお待ちしています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

（高山邦明）

作業	下大和田	小山
コシヒカリの種まき	4/9(土)	4/10(日)
古代米の種まき	4/9(土)	5/5(日)
田起こし	5/7(土)	4/10(土)ほか
コシヒカリの田植え	5/14(土)	6/4(土)・6/15(水)ほか
古代米の田植え	5/14(土)	6/11(土)・6/18(土)ほか
コシヒカリの稲刈り	9/17(土)	10/1(日)ほか
コシヒカリの脱穀	10/2(土)	11/25(金)ほか
古代米の稲刈り	10/29(土)	11/3(木)・11/20(日)ほか
古代米の脱穀	11/12(土)	12/10(土)・12/14(水)ほか
籾すり	11/19(土)	12/12の週

	下大和田	小山
コシヒカリ	105 kg	22 kg
農林一号	14 kg	-
緑米	105 kg	3.3+ kg*
黒米	22 kg	6.5 kg
赤米	12 kg	6.7 kg

\*小山の緑米は籾すり未了



# 里山たんけんレポート

## 第 143 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2011年12月4日(日) 晴れ

今日は千葉大へ留学しているフィンランド、ハンガリー、アメリカ、中国の4の方が参加され国際色豊かな観察会となりました。

昨日までの寒さが一転、風は強いながら暖かい快晴の日となりました。コナラの葉が色付き青空に映えてとてもきれいでした。暖かさに誘われて成虫で越冬する昆虫、まだ頑張っている昆虫などが姿を見せてくれました。もともと熱帯・温帯に生息し北へ生息域を広げているツマグロヒョウモンがまだ元気で複数匹見かけました。トンボはアキアカネが多く、マユタテアカネの♀、オオアオイトトンボも見られました。日当たりのよい南向きの枯葉だまりの土手にはツチイナゴ、クビキリギス、コバネイナゴなどバッタの仲間がいくつも日向ぼっこをしていました。咲き残っているセイタカアワダチソウの花にはハナアブやホソヒラタアブがたくさん訪れていました。水のある田んぼではメダカが群れていました。

鳥は少なく冬鳥ではアオジが順調にやってきているようでしたが他の冬鳥とは出会えませんでした。いつものシジュウカラやエナガ、コゲラなどにも出会えませんでした。今シーズンは鳥が極端に少なくなっているようで気がかりです。例年目立つ存在のオオカマキリの卵のうちも2つ見ただけでした。今年は虫も絶対数が少ないようでこちらも気がかりでした。

(参加者 大人 14 名、高校生 4 名； 報告：網代春男)

## 第 128 回 下大和田 YPP「収穫祭」

2011年12月17日(土) 晴れ

年末恒例の収穫祭に70人を超える方々がかけつけてくれて、子どもたちのにぎやかな声が谷津に響き渡ります。

もちつきは緑米を2升ずつ、4臼つきました。かまどで蒸し上がった湯気をいっぱい立てたお米を臼に移すと、もちつきの順番待ちの子どもたちの長い列ができます。最初は大人がついてから子どもたちの番。「い〜ち、に〜い、さ〜ん・・・」とみんなのかけ声に併せて一人10回ずつつきました。子ども用の小さな杵(きね)があるのですが、大人用がいいと大きな杵をふるう元気な子もいました。つきあがったお餅はきなこやお醤油、大根おろし、あんこなどいろいろな味で楽しみました。自分で育ててついたお餅のおいしさは格別です。お餅のほかにも、コシヒカリの試食、焼き鳥、焼き魚・イカ、焼きそば、焼き芋、味噌汁など食べ物がたくさんあって満足。

おなかがいっぱいになったところで、フラダンスを習っている方々が、どんぐりや蔓を使った作ったレイや冠を身につけて、里山フラを披露してくれました。冬の谷津にフラなんて一見場違いのように思われますが、フラの音楽や優しい体の動きは意外にも谷津にととてもよくマッチしていて、みんな安らかな気持ちになりました。

ネーチャークラフトや里山クイズ、かるたのコーナーもあって、子どもたちの笑顔がいっぱいの谷津でした。  
(参加者：大人42名、子ども30名；報告：高山邦明)



たっぷり食べて、いっぱい遊んでみんな満足！（撮影：田中正彦）

## 第 73 回 小山町 YPP「古代米の脱穀」

2011年12月10日(土) 晴れ

この冬一番の寒さ、しかも気温が氷点下4~5℃と真冬並みに冷え込んだ谷津は一面霜で真っ白で、田んぼには氷、畦には大きな霜柱ができていました。今年は作業が遅れて、一週間前によく稲刈りを終えたばかりで、残っていた赤米と緑米を脱穀しました。日当たりの良い田んぼの脇に足踏み脱穀機を2台と唐箕を運んできて、作業をしました。日が昇っても日陰は白いままでしたが、日向はほかほかで脱穀機をガ〜コン、ガ〜コンと踏んでいると暑く感じるほどでした。最初に脱穀した赤米は実の付きが悪くて、モミが落ちる音があまり聞こえませんでした。それに比べると緑米はいいのですが、例年と比べると実りは今ひとつのようです。足踏み脱穀機ではワラがたくさん混じってしまうので、脱穀した後、唐箕(とうみ)を通してごみを取り除きました。今は使われないことがない、足踏み脱穀機と唐箕。かつての農家の方がこの機械を使ってどんな思いで、何を話しながら作業していたのかな、とちょっと想像してみたりしました。



唐箕を使ってごみを吹き飛ばします（撮影：高山邦明）

(参加者：大人5名；報告：高山邦明)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 12月10日 前日の雨のせいか、雪と見紛う程の霜がおりた。とても寒かった。(金谷)。日が昇るとひなたはポカポカに暖くなり、田んぼにナツアカネが飛んでいた。(高山)
- 12月25日・28日 冬鳥でにぎわう谷津を期待して散策したが、野鳥の数が非常に少なく、たとえばツグミは2日間で一度、声を聞いただけ。(高山)

### 下大和田

- 12月20日 水路の氷の厚さは一センチくらいになった。畦のもぐら塚が増えてきた。その塚さえも凍っていた。(金谷)
- 12月27日 氷の厚さは約二センチに。夕暮れ時、鍬についた泥が三十分ほどで凍りついた。(金谷)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも)：ちば環境情報センター (TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/)

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

## ▼第129回「どんど焼きと昔あそび」

新年恒例のどんど焼きです。そして、たき火を囲んでパイゴマやけん玉など昔懐かしい遊びを大人も子どももみんなでお楽しみます。新しい年の抱負を語りながら楽しみましょう。

日時： 2012年1月8日(日) 10:00~14:00 小雨決行

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など>料金は520円)

持ち物： 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、昔あそびの道具、どんど焼きで燃やしたいものなど。

参加費： ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催： ちば環境情報センター 共催： ちば・谷津田フォーラム

## ▼第145回 下大和田2月の谷津田観察会とごみ拾い

ニホンアカガエルの産卵が始まっている頃です。卵塊をカウントしたり、生きものの冬越しや冬鳥を観察しながら谷津を巡ります。

日時： 2012年2月5日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 \*小雨決行

場所： 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田YPPに同じ)

集合： 下大和田YPPに同じ

持ち物： 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 100円(小学生以上、資料代など)

主催： ちば・谷津田フォーラム 共催： ちば環境情報センター

## ▼第74回 小山町YPP「自然観察会」

冬の鳥たちを探して谷津を散策します。

日時： 2012年1月15日(日) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物： 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、

参加費： 100円(小学生以上、資料代など)

主催： ちば環境情報センター

編集後記 皆さん、新しい年をいかがお迎えですか？ 12月のはじめまで冬とは思われないような暖かさが続いていましたが、ここに来てようやく冬らしい冷え込みの毎日になりました。冬の谷津といえば、ツグミやアオジ、カシラダカなど、大陸や北国、高い山から渡ってきた冬鳥たちでにぎわうのが普通なのですが、今季はびっくりするほど野鳥の数が少なく、写真を撮ろうとカメラを持ち歩いてもシャッターを切るチャンスがほとんどありません。鳥の数が少ない谷津は散策していても寂しいです。(高山 邦明)